



1 イワナガヒメ

2 コノハナノ  
サクヤビメ

3 ニニギ

4 コトシロヌシ

5 タケミカツチ

6 タケミナカタ

7 オオクニヌシ

8 ヤガミヒメ

9 スセリビメ

「天てんがにぎやか、国くにもにぎやか。天てんの日ひが高く尊ととく、稲穂いなほが豊ゆたかなことを意味いする名前なまえだ。素晴すばらしい名前なまえの、孫まごを降くだらせるのがよいだろう」

アマテラスは息子むすこの言いう通とおりに、今度こんどはニニギを呼よびよせ、

「高天原たかあまのほらの下したには素晴すばらしい国くにがある。その国くには天あまつ神かみの子孫しそんが行いって治おさめる国くになのだ。ニニギよ、おまえが行いって治おさめなさい」と言いいました。

こうして父ちちのアメノオシホミミに代かわりニニギが天てんから降くだるこ  
ととなったのです。



## ニニギ

# 邇々芸命



ニニギはアマテラスの孫にあたる神で、「天孫」とも呼ばれています。父のオシホミミに代わり、アマテラスの命令で葦原の中つ国を治めるため、高天原から高千穂の峰に降り立ちました。これを「天孫降臨」といいます。ニニギは美しいコノハナノサクヤビメとを妻としました。しかし、この時に妻の姉イワナガヒメとは結婚しなかったために、ニニギの子孫である天皇の寿命は限りあるものとなりました。

## オオクニヌシ

# 大国主神



若いころはオオナムジという名前で、兄神たちにいじめられるおとなしい神様でした。二度も兄神たちに殺されてしまいますが、死と復活をくり返し、またスサノオの試練を乗り越えながら、たくましく成長していきます。そして、スサノオからオオクニヌシの名を与えられるでした。その後は、スクナビコナや御諸山の神様といっしょに国を作り治めました。オオクニヌシは、ほかにもアシハラシコオ、ウツシクニタマ、ヤチホコという呼び名を持っています。